



学校だより



12月号

令和5年(2023年)
11月30日(木)

横浜市立洋光台第二小学校

わたしも大切、あなたも大切 ~自分を好きになることから始めよう

学校長 ^{のむら}野村 ^{ひかる}光

早いもので今年もあとひと月となりました。11月25日のHMFでは、たくさんの保護者の方、ご来賓の方にお越しいただき感謝いたします。インフルエンザの流行と時期が重なり、4年生の参加ができなかったことはとても残念でしたが、体育館には参加した子どもたちの元気な歌声と楽器の音色がいっぱいに響き渡り、素晴らしいHMFとなりました。ステージで発表した子どもたちもちろんですが、会を進める担当の子どもたちも立派に役目を果たしていました。ペア学年でお互いのよいところを発表しあう場面もありました。子どもたちはこれまでの練習の成果を十分に発揮し、まさに「実りの秋」を目と耳で感じる事ができました。

さて、学校の12月の大切な行事に人権週間【12月5日(火)~18日(月)】があります。この期間中は人権朝会や、人権キャラバン、ふれあい委員会の子どもを中心に人権集会などの活動を計画しています。また、運営委員会の子どもが中心となりユニセフ募金も実施します。世界人権宣言のなかでは、「すべての人間は生まれながらにして自由であり、尊厳と権利について平等である」と謳われています。本校では、「スマイルことばとあいさつでみんなの心をスマイルに」をテーマに、【「スマイルことば」を積極的に使い、相手を思いやる。】【「あいさつ」で、相手と心をつなぐ。】【「スマイル行動」で、相手を助ける、気遣う。】という3つの柱で取り組みます。これらの取組は一年を通して続けていくことが大切ですが、今回改めて身の回りの人権について考える機会としました。4月の始業式の日、「自分を大切にすると同じように、相手のことも大切にしてください。」という話をしました。私たちはややもすると自分のことだけを考えてしまいがちですが、子どもたちには周りの人を思いやる心もち、その心をしっかりと笑顔と行動であらわしていくことが重要であること、そして、周りの人を大切にすることは、自分自身を大切にすることにつながることに気付いてほしいと願っています。

今、校長室と職員室を挟んだ廊下の端に、ケージに入れられたウサギの「コハク」がいます。今年の春先に耳の三半規管の病気にかかり、酷暑の飼育小屋から今の場所へ移されてきました。これまで休日も含め、有志職員が中心となり世話を続けてきました。もちろん休み時間には飼育委員会の子どもたちも必ず水を交換し、えさをやりにきてくれています。校長室にいと、廊下を通る子どもたちや職員、コハクに掛ける優しい言葉が毎日聞こえてきます。その言葉を聞いていると私も自然と温かな気持ちになるから不思議です。病気のコハクを介して、やさしさのコミュニケーションが広がった気がしました。いつか元気に飼育小屋で跳ね回る日が来ることを信じて、今日もコハクのところには優しい言葉とニンジンの切れ端をもって誰かがやってくるでしょう。